

(財)茨城県防犯協会

[法人の概要]

平成17年7月1日現在

代表者名	理事長 人見 實徳	県所管部課	茨城県警察本部生活安全総務課	
所在地	水戸市笠原町978番6	電話番号	029-301-6015	
ホームページURL	http://www.geocities.jp/ibarakibohan/	E-mailアドレス	ibohan@jasmine.ocn.ne.jp	
資本金(基本財産)	147,018 千円	設立年月日	昭和31年4月1日	
主な出資者	出資順位	出資者名	出資額	出資比率
	1	茨城県	30,000 千円	20.4 %
	2	常陽銀行	5,000 千円	3.4 %
	3	茨城県遊技業防犯協力会	2,040 千円	1.4 %
	4	日立製作所	2,000 千円	1.4 %
	5	茨城県建設業協会	1,100 千円	0.7 %
	その他	83 団体	20,000 千円	13.6 %
設 立 目 的	茨城県防犯協会は、犯罪のない明るい社会の実現を目指して、県民の防犯思想の普及、善良の風俗の保持及び風俗環境の浄化並びに少年の健全育成に寄与するとともに、各種防犯団体の円滑な発展を図ることを目的として、昭和31年4月1日に財団法人として設立された。			

[事業の概要]

事業名	平成17年度事業費	内 容
事業1 地域安全活動事業	8,350 千円	地域安全ポスターの作成、街頭犯罪抑止ポスター等の作成。自警団組織の活性化。女性部事業の推進。地域安全・暴力追放茨城県民大会の開催。県内小中学校対象防犯ポスターの公募等。
事業2 広報活動事業	3,650 千円	広報誌「ちいきあんぜん茨城」の発行。自転車等防犯登録事業の広報。各季における地域安全運動。防犯関係図書、防犯ビデオの購入等。
事業3 少年非行防止活動事業	3,330 千円	薬物乱用防止啓発活動。少年非行防止活動。少年白書の作成。県内中学校対象「非行防止ポスター」の公募等。

[組織]

7月1日現在の人数	年度	平成15年			平成16年			平成17年		
		県派遣	県OB		県派遣	県OB		県派遣	県OB	
役員	常勤理事	1		1	1		1	1		1
	非常勤理事	30		1	31		1	32		1
	常勤監事									
	非常勤監事	2			2			2		
	計	33	0	2	34	0	2	35	0	2
職員	管理職									
	一般職	2		1	2		1	2		1
	臨時職員	2			2			2		
	嘱託職員	24			25		1	8		3
	計	28	0	1	29	0	2	12	0	4
当期常勤職員の年齢構成	20代以下	30代		40代	50代以上	合計	平均年齢	平均勤続年数		
		1			1	2	50歳	6年6月		

[収支の状況]

(財)茨城県防犯協会

(単位:千円)

区 分		平成14年度	平成15年度	平成16年度
収 支 の 状 況	収入合計	116,945	109,435	127,252
	事業収入	116,945	109,435	127,252
	事業外収入	0	0	0
	支出合計	116,580	108,377	126,086
	事業支出	116,580	108,377	126,086
	事業外支出	0	0	0
	うち管理費	8,930	9,075	7,780
	うち人件費	72,738	73,390	82,549
	当期収支差額	365	1,058	1,166
	正味財産増加額	76,112	67,452	83,032
	正味財産減少額	75,964	67,255	82,782
	当期正味財産増減額	513	1,255	1,416
前期繰越正味財産	153,401	153,914	155,169	
期末正味財産	153,914	155,169	156,585	
財 産 の 状 況	資産	170,659	174,765	170,762
	流動資産	18,953	21,883	16,821
	固定資産	151,706	152,882	153,941
	負債	16,745	19,596	14,177
	流動負債	14,252	16,295	10,068
	うち短期借入金	0	0	0
	固定負債	2,493	3,301	4,109
	うち長期借入金	0	0	0
正味財産	153,914	155,169	156,585	

[財的関与の状況]

(単位:千円)

区 分		平成14年度	平成15年度	平成16年度
財 的 関 与 状 況	補助金	3,180	2,703	2,703
	委託金	76,755	67,455	81,291
	貸付金	0	0	0
	計	79,935	70,158	83,994
	財的関与の割合(%)	68%	64%	66%
	損失補償・債務保証	0	0	0

[平成16年度の補助金等の目的・内容等]

支出項目	目的・内容・効果
補助金	地域住民による自主的防犯活動の促進を図り、安全で安心して生活できる地域社会を実現することを目的とし、内容は県民大会の開催、地域安全活動に功労のあった団体、個人の表彰、機関誌「ちいきあんぜん茨城」の発行である。効果として広く県民に防犯意識の高揚が図られ、受賞者の活動も活発になったほか、機関誌により、広く防犯協会の活動内容が知られ防犯に関する知識を高めた。
委託金	善良な風俗環境の保持を目的とし、内容としては、風俗営業の規制及び業務の適正化に関する法律に基づき、風俗営業を適性に行わせるため風俗営業の管理者を対象に講習を行い風俗環境の浄化を維持しているほか、地域安全支援要員事業、地域安全パトロール事業、学校訪問連絡員事業などを行っている。
貸付金	無し

[評点集計]

評価の視点	評価項目数	評点	満点	得点率
計画性	4	8	8	100.0%
目的適合性	5	8	14	57.1%
組織運営の適正性	4	8	8	100.0%
健全性	11	30	40	75.0%
効率性	8	3	28	10.7%
合計	32	57	98	58.2%

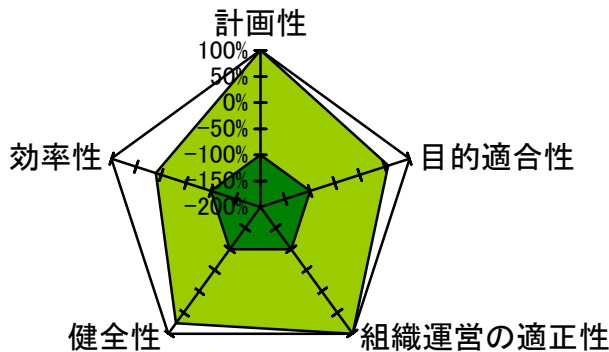
警戒指標

--

《評価の視点》

計画性	経営目的、経営方針が各種計画に反映され、計画・実行・見直しが行われているか
目的適合性	法人が行っている事業と当初の設立目的が適合しているか
組織運営の適正性	組織、人事、財務等の内部管理体制が適切に整備・運用され、かつ情報公開による透明性の確保が適切か
健全性	法人の財務体質が健全であるか、また、各事業の採算性がとれているか
効率性	組織の管理運営上における人的・物的な経営資源が有効活用されているか

各評価項目については、「出資法人等経営評価指標及び評価基準等」を参照



[法人の自己評価(経営概況, 経営上の課題, 対策等)]

計画性	目的適合性	組織運営の適正性	健全性	効率性
<p>○女性部を昨年3月に立ち上げ、1年間研修と実践的活動を行った。本年は女性部員を各地区2名に増員し地区単位の活動を強めていく。</p> <p>○防犯連絡所の拡充3ヶ年計画を推進中であり、1万4千余所に増加した。</p> <p>○自警団については、4月末219組織(前年50)25000人(前年7000人)となった。</p> <p>○ボランティア地方研修会を開催して、ボランティア活動を支援している。</p>	<p>○協会設立目的である「犯罪のない明るい社会の実現を目指して県民の防犯思想の普及…」のため独自の事業及び県警並びに各種防犯団体の協力を得ておこなっている。又、防犯団体の中核として他の防犯団体に「安全・安心なまちづくり」のノウハウを伝えていく。</p> <p>○公安委員会から「風俗環境浄化協会」として指定を受け、風適法に基づく風俗環境浄化活動と少年の非行防止活動を行っている。</p>	<p>○情報公開について(財)公益法人協会サイトに決算・予算関係、事業報告、事業計画、役員名簿等の情報を公開している。インターネット上にホームページを開設計し、各種防犯情報を公開している。</p> <p>○広報誌「ちいきあんぜん茨城」を年間3回5000部発行している。(市町村、学校などに配付)</p>	<p>○基本財産は、国債、県債で管理している。○予算は中長期計画に基づく事業を及び新規事業に合致した計画を策定している。</p> <p>○正味財産については、平成16年度増加している。</p> <p>○平成16年度の補助金への依存度は前年並みであった。各種郵送料の削減を図っている。(郵便から宅配に)</p>	<p>○業務量が増加しているが、現有職員で事務処理を効率的に行っている。</p> <p>○受託業務である学校訪問連絡員事業は、学校と警察の橋渡し役として、少年の非行防止と健全育成に成果を上げている。</p>
<p>今後の事業展開の方向</p>	<p>○昨年度で防犯サポーターが終了したが、この成果に各自治体が注目し独自に防犯サポーターを置く市町が出てきた。県防犯協会として引き続き市町村にサポーター制度の導入を働きかけていく。</p> <p>○平成15年度に結成した「女性部」を、各地区協会にも結成するよう働きかけて「女性の視点」に立った防犯活動を拡大していく。</p> <p>○防犯連絡所の拡充を引き続き行っていく。</p> <p>○自警団の結成については、「自分の身は自分で守る」という視点から更に組織化を進めていく。</p>			

[法人を担当する課の意見]

計画性	目的適合性	組織運営の適正性	健全性	効率性
女性部については、人員増員、各地区での女性部の発足、防犯連絡所の拡充も3ヶ年計画で着実に増加、自警団も確実に増加しているほか、ボランティア研修会によるボランティアの育成等引き続き成果がでるよう計画的に取り組んでいる。	目的適合性については問題はなく、目的に沿った各事業について、その地域防犯活動の中核として活動している。	組織運営は組織並びに人員とも適正に運用されており、情報公開についてもホームページに公開するなど適正に運営されている。	財産管理運営は、評価指標の健全性において高評価を受けているなど安全確実な資産運用に努めているほか、郵送料の削減など経費削減を図っている	刑法犯の認知件数が2年連続の減少の要因として、効果的な防犯情報の提供や防犯連絡所をはじめ、自主防犯組織である自警団の活動が効果を上げているなど、警察と防犯協会が連携を強化して効果的に事業を実施している。
第三次行財政改革大綱に係る取組状況	推進事項		取組み状況	
法人担当課の意見	<p>①中長期計画として「女性部」を設置し、今後順次各地区に広げ共通の活動を行うほか、防犯連絡所の拡充、県安全なまちづくり推進委員会に参加し、推進事項の支援等積極的に取り組んでいる。</p> <p>②昨年度は女性部の設置、防犯連絡所の拡充、自警団の結成、更に受託事業である防犯サポーターの運営等を効果的に行い、その結果刑法犯が8年ぶりに減少に転ずるなど効果が出ているので、本年度も引き続き、女性部の充実等各種事業を計画的にかつ積極的に推進していくことによって、犯罪のない明るい社会の実現が期待できる。</p>			

[総合評価]

取組みを強化すべき視点	
総合的所見等	<p>地域安全活動の推進や防犯組織の育成など犯罪の防止に寄与してきた経験を活かし、市町村や地域住民に対し、住民自らの防犯意識の啓蒙を図るなど、犯罪のない明るい社会の実現を目指し、より効果的な事業を実施するよう努められたい。</p>

総合的所見等に係る対応	<p>当法人は、防犯組織の育成等犯罪防止に寄与してきたノウハウを生かして、安全で安心して暮らせる地域社会の確立を図るうえで有効な事業を推進しているものであり、犯罪が多発している現在、その必要性・重要性は高まっている。</p> <p>今後も、警察と当法人との連携を強化し、自主防犯組織への支援強化や地域住民に対する自主防犯意識の啓蒙活動の推進など、各種事業の積極的な展開を図っていく。</p>
-------------	---

< (財) 茨城県防犯協会 から県民のみなさまへ >

ここ数年犯罪が多発し、いわゆる「体感治安」が悪化しています。治安悪化の要因の一つとして、価値観の多様化による地域の連帯感の欠如が上げられます。連帯感の欠如によって、地域の安全を地域自らが解決することを難しくしています。今や、「安全と水は只」の時代ではありません。警察や行政に頼らず「自分の身は自分で守る」ことが求められています。幸い、県内には多くの自警団が結成されています。自警団の活動内容は様々ですが、それぞれの地域で独自の地域安全活動を行っています。県民の皆様も、防犯に関心を持ち犯罪者が敬遠する「街づくり」をして頂きたいと思っております。茨城県防犯協会では、県民の皆様にも少しでも役立つ防犯対策や防犯活動の相談に応じております。防犯協会ホームページをご覧ください。

平成18年2月 理事長 人見實徳